

**NSG**  
**GROUP**

# NSG グループ 中間決算

- イントロダクション
- 決算概要
- 事業別概要と戦略のアップデート
- 見通しとサマリー

21<sup>st</sup> November 2007

# 決算概要

## 要点

- 売上高・利益とも大幅上昇
  - ピルキントン社6ヶ月連結による
- プロフォーマベース(FY07上期P社業績を含め、暖簾等償却前)では業績向上を継続
- 豪州事業売却
  - キャッシュと利益に大きな効果
- ネット借入は530億円減少

# 連結損益計算書

<u>(JPY bil)</u>	<u>H1 FY07*</u>	<u>H1 FY07 (Proforma)</u>	<u>H1 FY08</u>	<u>Change from H1 FY07</u>
売上高	273.3	418.8	433.9	59%
暖簾等償却費前営業利益**	14.7	27.5	39.1	166%
暖簾等償却費	(6.1)	(12.2)	(12.1)	98%
営業利益	8.6	15.3	27.0	214%
営業外損益	(1.3)		(9.7)	
経常利益	7.3		17.3	137%
特別損益	32.4		48.8	
税前利益	39.7		66.1	66%
当期純利益	20.3		51.5	154%
EBITDA	28.4		63.9	125%

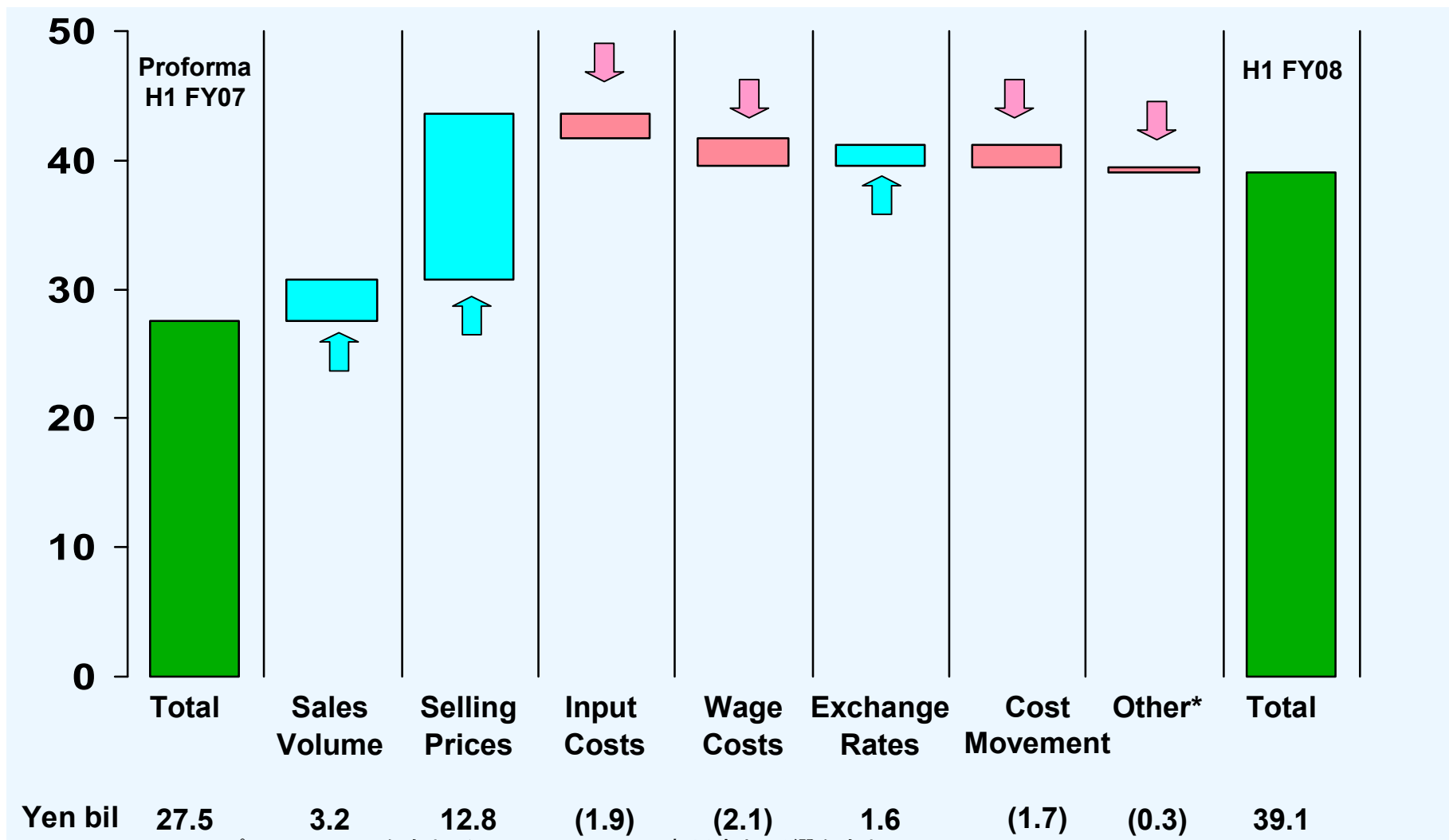
\*豪州事業を含む

\*\*P社買収に係わる暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

\*カッコ内の数字はマイナス値

売上高・利益の大幅上昇

# 営業利益差異分析



Yen bil

+Pro-forma=旧ビルキントン6ヶ月を含むベース

\*Otherに 豪州売却影響を含む

\*カッコ内の数字はマイナス値

事業損益構造の向上

# 営業外損益

	H1 FY07 JPY billion	H1 FY08 JPY billion
受取利息・受取配当 (1)	1.70	4.60
持分法投資損益	(1.00)	4.80
雑収益	3.20	1.20
支払利息 (1)	(3.80)	(14.90)
雑損失(為替差損益含む)	(1.40)	(5.40)
	<u>(1.30)</u>	<u>(9.70)</u>

(1) ネット金融費用      – 10.3 bil

\* カッコ内の数字はマイナス値

# 特別損益

	H1 FY07 JPY billion	H1 FY08 JPY billion
有価証券売却益	43.10	45.40
固定資産売却益	1.00	2.30
買収費用	(11.70)	0.00
固定資産・有価証券減損処理	(0.90)	(1.30)
その他	0.90	2.40
	<u>32.40</u>	<u>48.80</u>

\* カッコ内の数字はマイナス値



# 連結貸借対照表

JPY bil	H1 FY07 September 2006	FY07 March 2007	H1 FY08 September 2007
流動資産	454.2	465.8	465.3
固定資産	910.7	943.2	953.0
総資産	<u>1,364.9</u>	<u>1,409.0</u>	<u>1,418.3</u>
負債	1,037.6	1,058.4	1,021.0
資本(純資産)	327.3	350.6	397.3
負債・資本	<u>1,364.9</u>	<u>1,409.0</u>	<u>1,418.3</u>
期末発行済株式数 (百万株)	<u>564.4</u>	<u>668.4</u>	<u>668.3</u>
株主資本比率	<u>23.0%</u>	<u>23.9%</u>	<u>27.1%</u>
BPS (JPY)	<u>556.4</u>	<u>504.6</u>	<u>575.4</u>

# 連結キャッシュフロー

(JPY bil)

	<u>H1 FY07</u>	<u>H1 FY08</u>
営業キャッシュフロー	15.6	13.8
投資キャッシュフロー	(230.4)	59.8
フリーキャッシュフロー	<b>(214.8)</b>	<b>73.6</b>
財務キャッシュフロー	182.9	(64.1)
現金換算差額	10.7	(0.8)
現預金増減	<b>(21.2)</b>	<b>8.7</b>
現預金期首残高	179.1	159.8
現預金増減	(21.2)	8.7
当座貸越増減	0.0	(38.7)
現預金期末増減	<b>157.9</b>	<b>129.7</b>

\* カッコ内の数字はマイナス値

事業利益と資産売却による大きなキャッシュ創出

# 主要財務指標 (“KPI”: Key Performance Indicators)

	H1 FY07	H1 FY08
Net Debt (10億円)	476	347
Net Debt / EBITDA	-	2.9x
Gross Debt/Equity Ratio	1.94	1.28
EBITDA Interest Cover	-	5.7x
営業利益率*	5.4%	9.0%

\* ピルキントン買収による暖簾等償却前

借入削減へ順調な進展

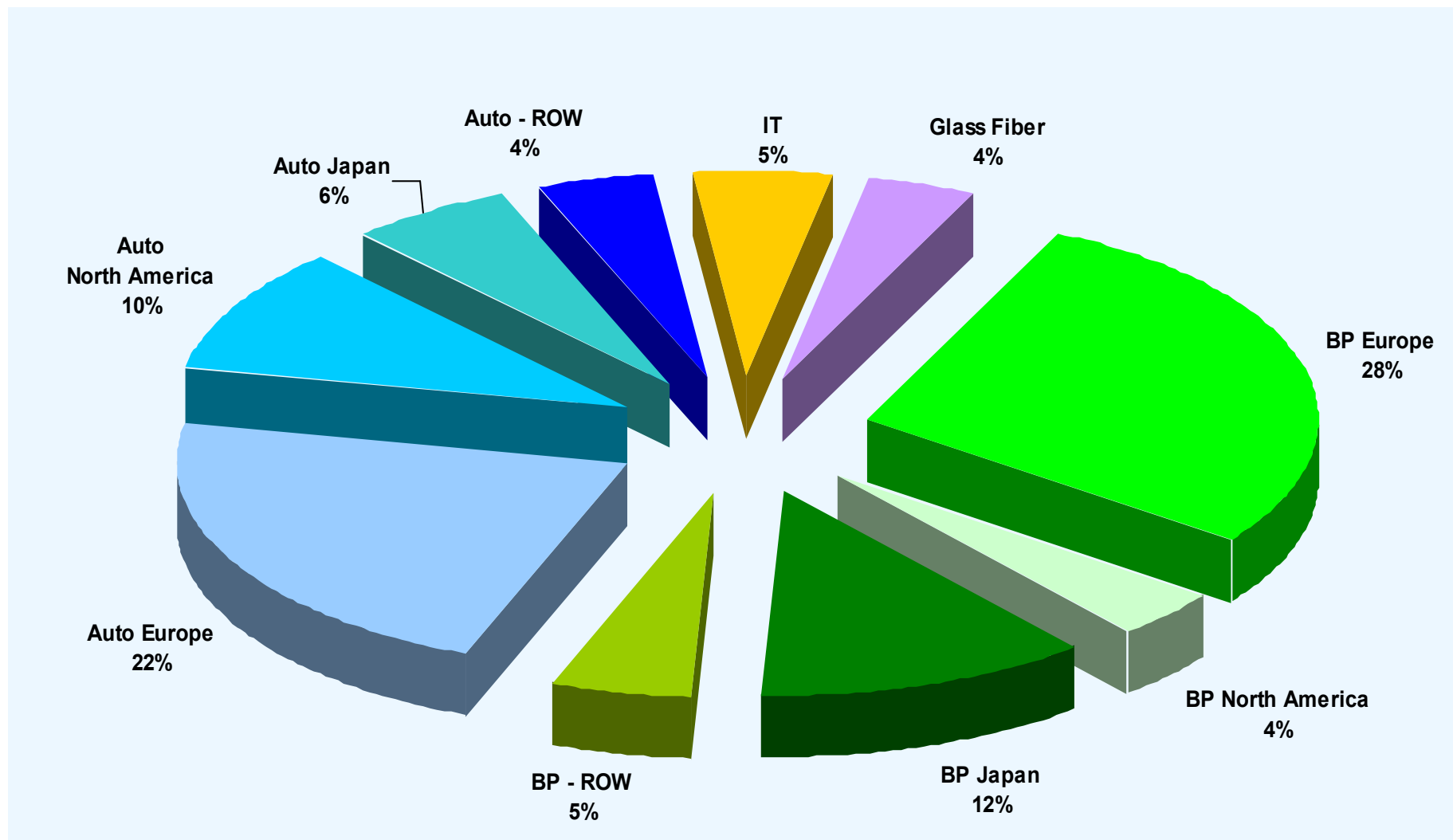
# 事業別概要

## NSG グループサマリー

- 板ガラスのグローバルリーダー – 主要メーカー中最も板ガラスに集中
- 主たる競合他社とほぼ同規模
- 51基のフロートを保有・出資（年生産能力6.4百万トン）
- 国際的な自動車ガラス顧客基盤
- 複合機能プリンター用レンズのリーディングプレイヤー
- ガラス繊維事業で優位なポジション
- 全世界従業員約34,000人
- 世界27カ国で製造、130カ国超で販売

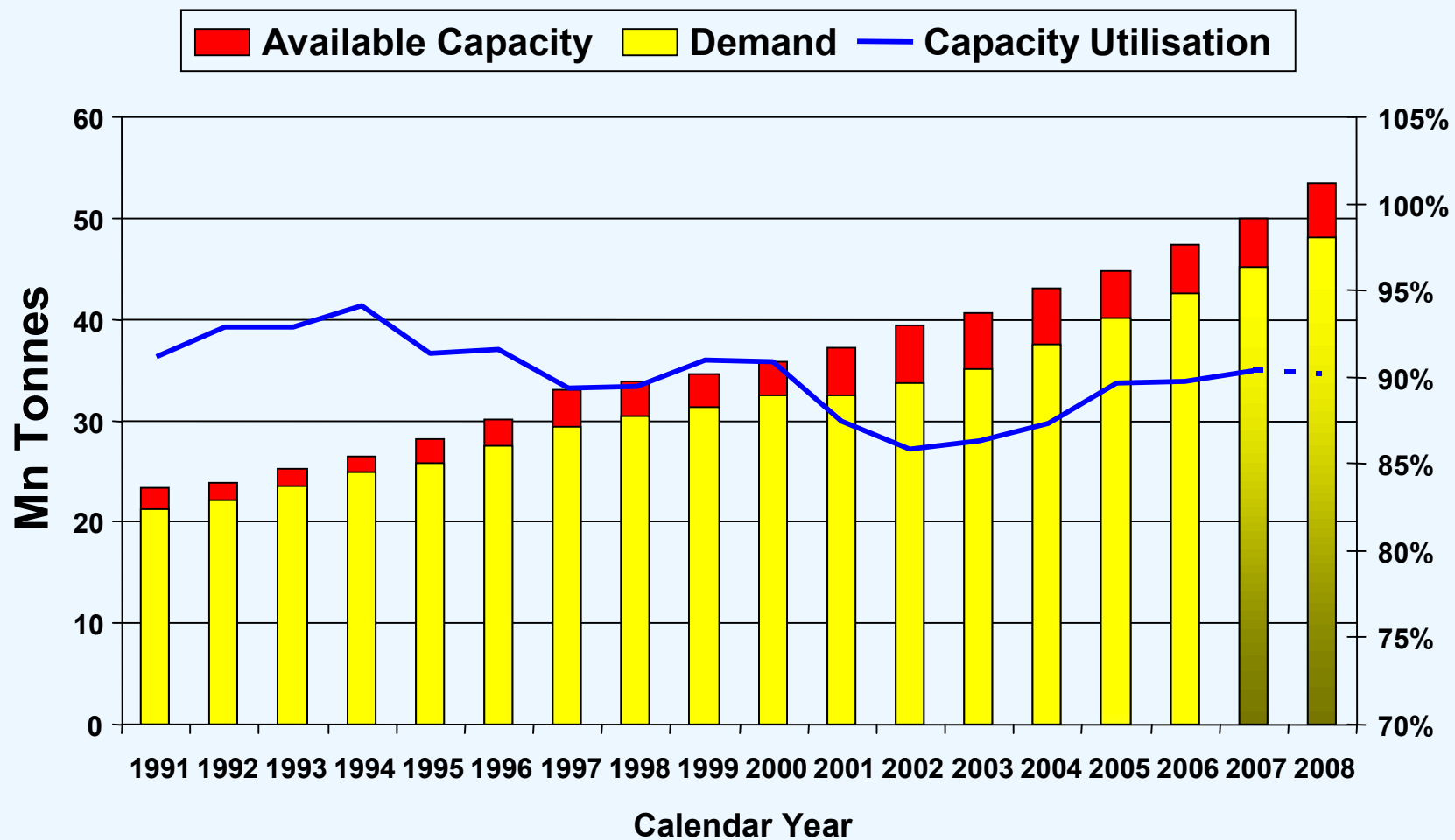
**板ガラスで世界最大規模**

# 事業別売上高



# 板ガラス事業

# グローバル板ガラス生産能力と稼働率

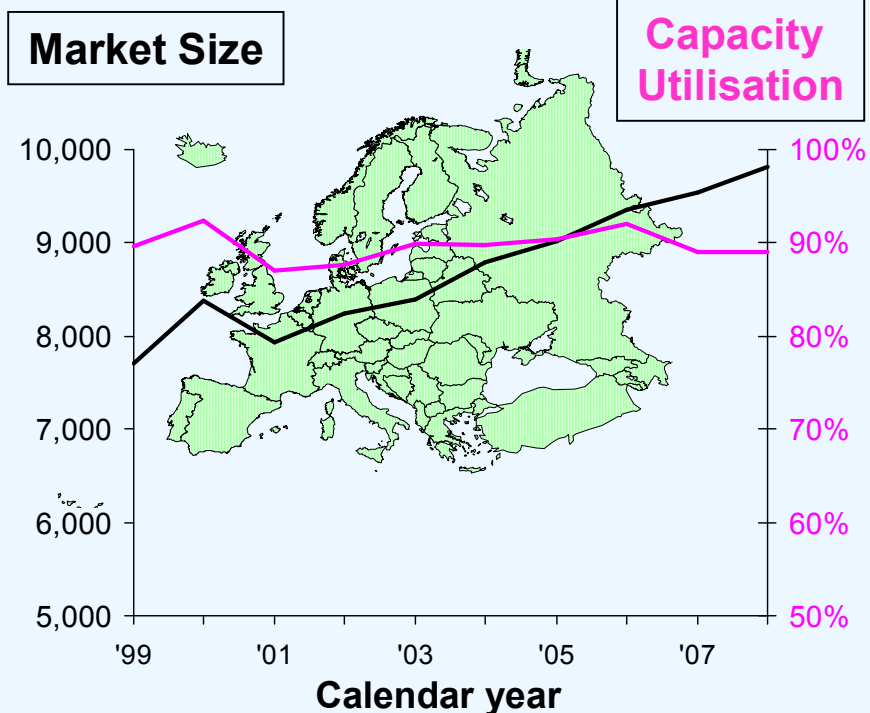




# BP 欧州-パフォーマンスベース

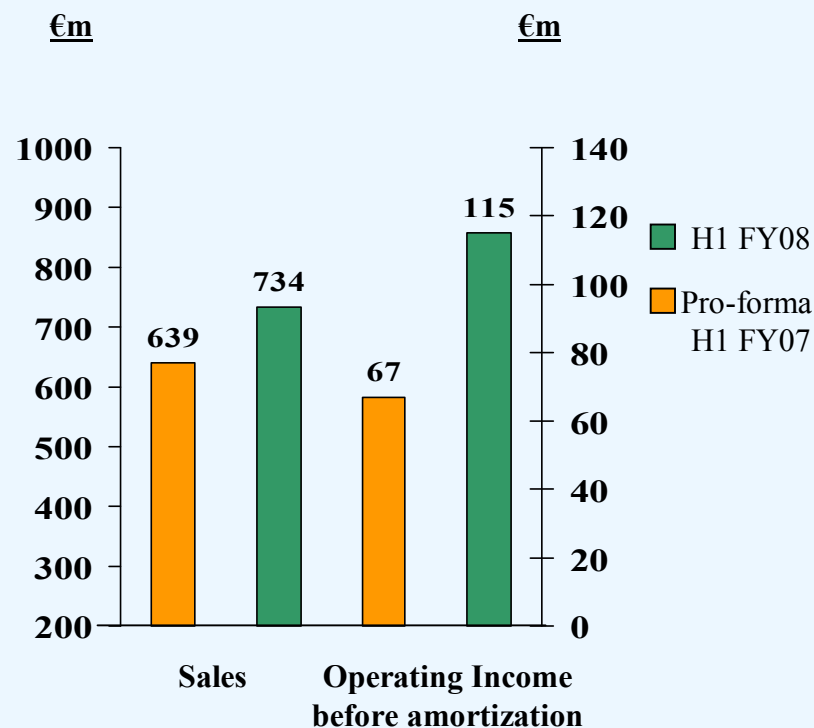
総レポート需要 000s tonnes

## Market



- 堅調な成長が継続
- 高い稼働率

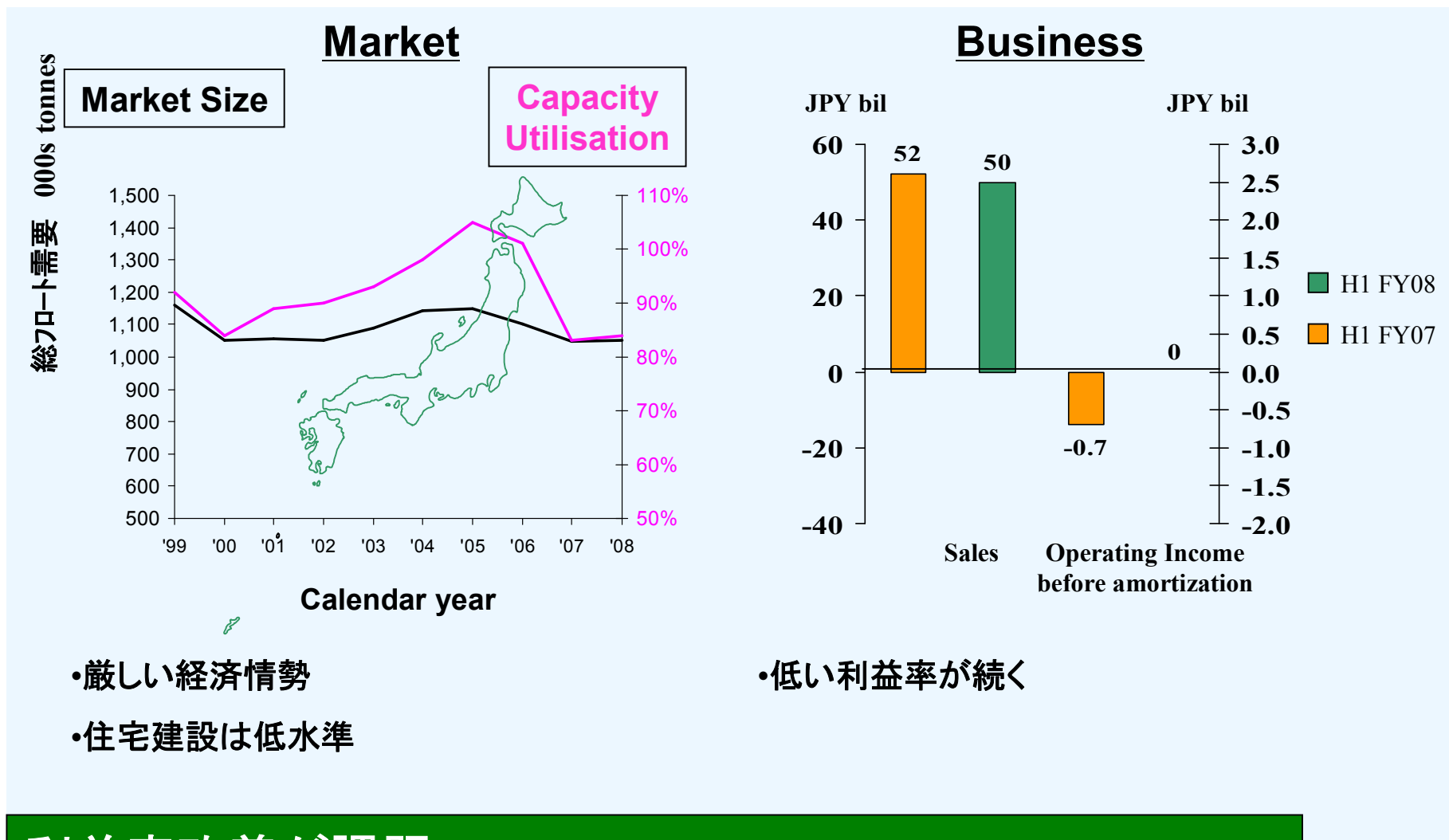
## Business



- コスト上昇を上回る販売価格上昇。
- ほぼ全地域で増益

**グループ最大の事業分野で好業績**

# BP 日本-パフォーマンスベース

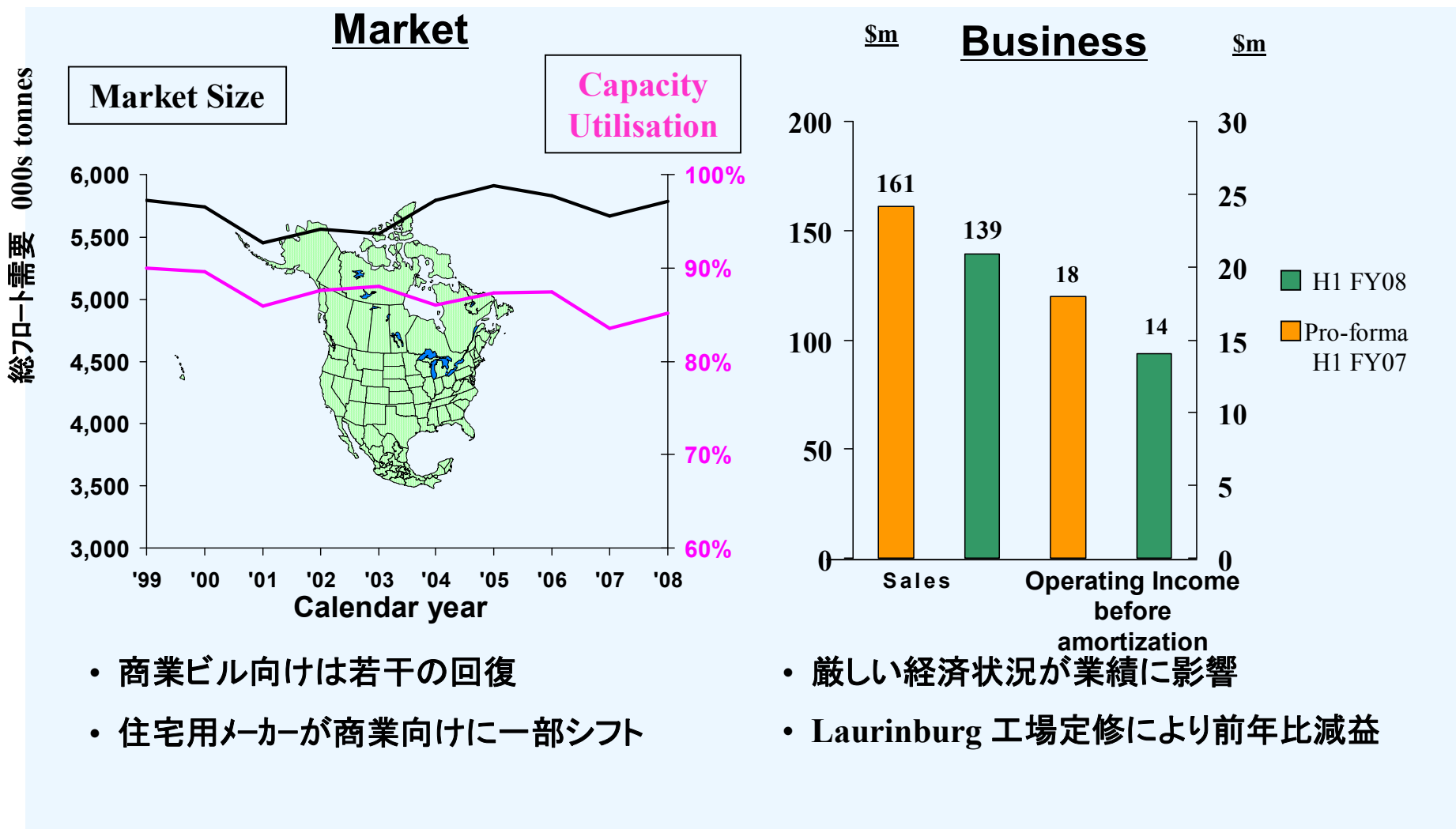


- 厳しい経済情勢
- 住宅建設は低水準

• 低い利益率が続く

利益率改善が課題

# BP 北米-パフォーマンスベース



- 商業ビル向けは若干の回復
- 住宅用メーカーが商業向けに一部シフト

- 厳しい経済状況が業績に影響
- Laurinburg 工場定修により前年比減益

厳しい環境下で良好な業績

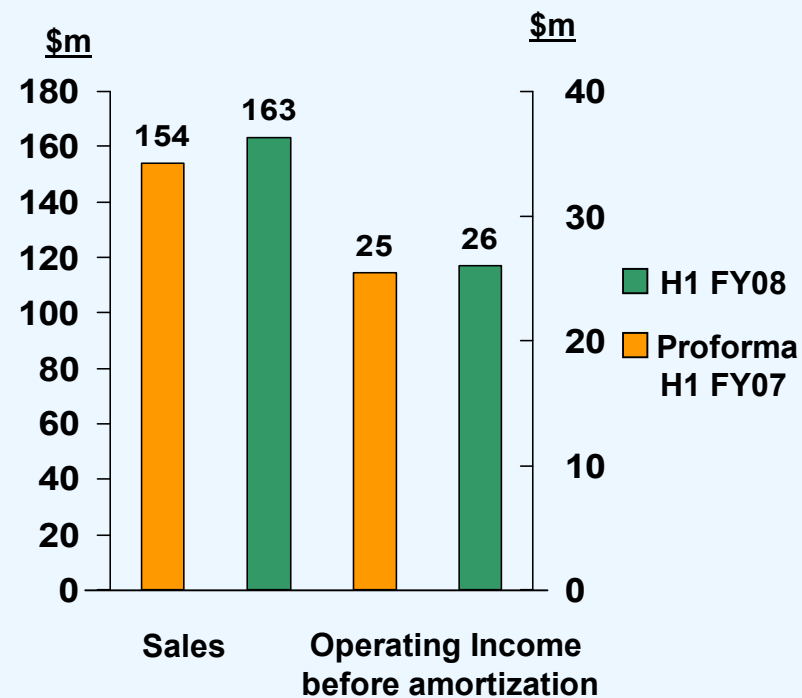
# BP その他地域-パフォーマンスベース

## Market



- チリ・アルゼンチンは需要旺盛
- ベトナム市場は成長継続

## Business



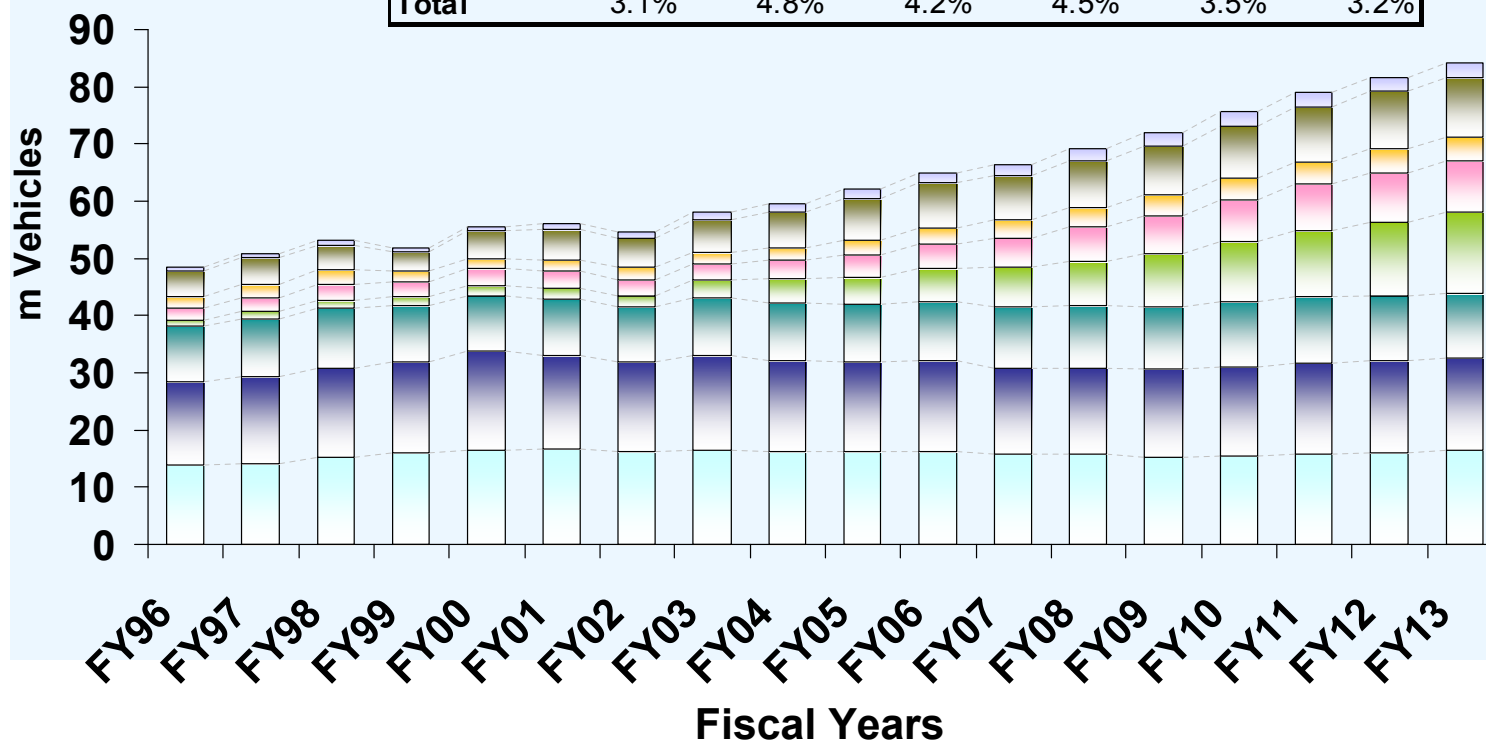
- 南米事業は好調を維持
- 東南アジアは堅調

南米事業は好調を維持

# 世界の乗用車組立台数: FY08は年 3.1% 成長

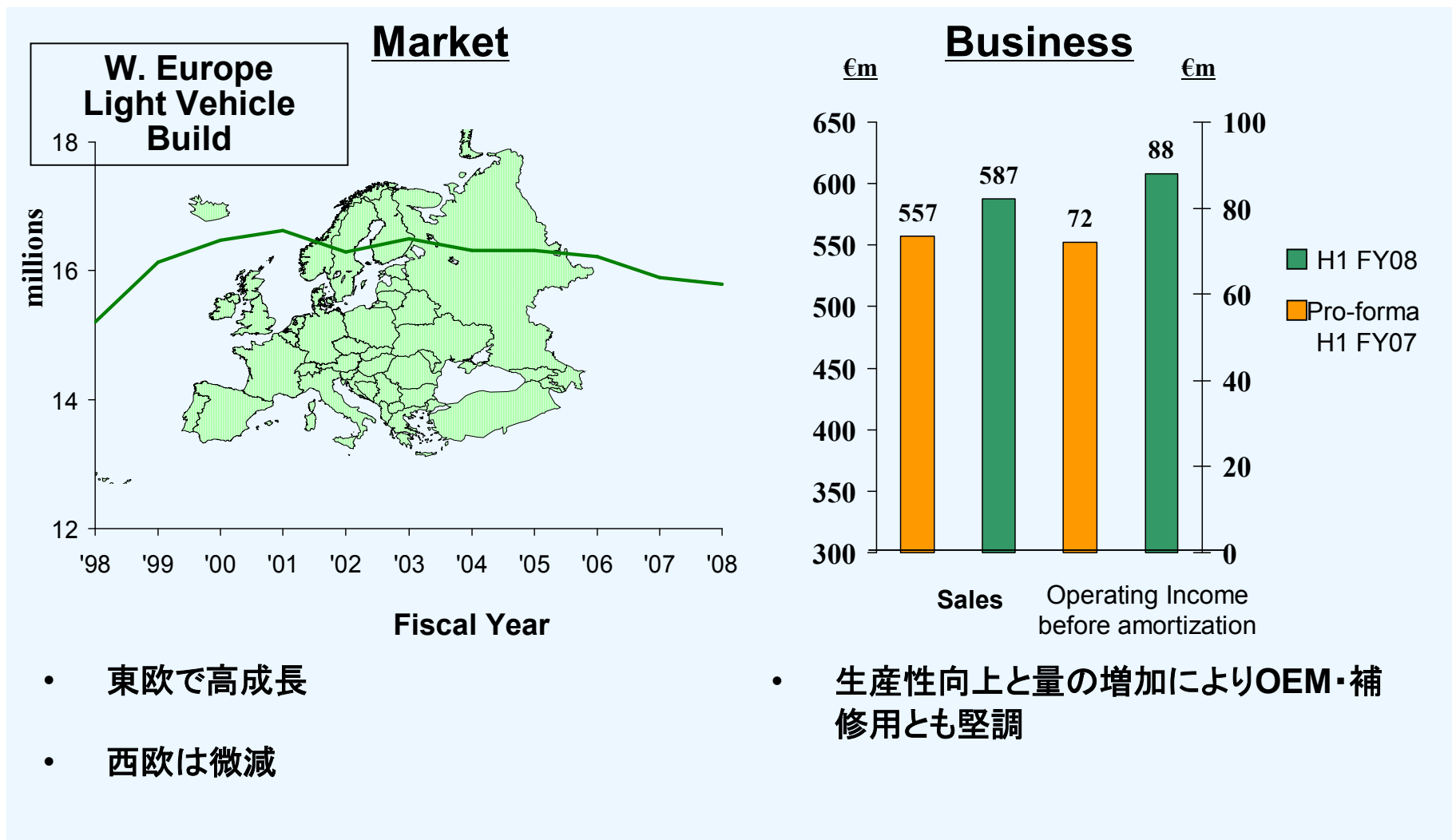
	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13
WE	-0.6%	-3.8%	2.1%	2.3%	0.9%	2.4%
NA	0.9%	2.0%	1.5%	2.0%	1.2%	0.7%
Japan	1.9%	0.5%	1.4%	1.6%	-0.3%	1.6%
China	12.0%	16.8%	13.4%	12.5%	9.7%	9.1%
EE	14.3%	13.8%	8.7%	10.6%	7.6%	3.5%
SA	15.3%	3.8%	3.0%	4.5%	2.3%	1.2%
RoA	-4.5%	12.9%	3.0%	3.5%	7.2%	3.8%
RoW	6.5%	13.7%	6.5%	0.6%	-1.3%	1.6%
<b>Total</b>	<b>3.1%</b>	<b>4.8%</b>	<b>4.2%</b>	<b>4.5%</b>	<b>3.5%</b>	<b>3.2%</b>

} 主な成長エリア



R. of World  
 R. of Asia  
 S. America  
 E Europe  
 China  
 Japan  
 NAFTA  
 W. Europe

# Auto 欧州-パフォーマンスベース

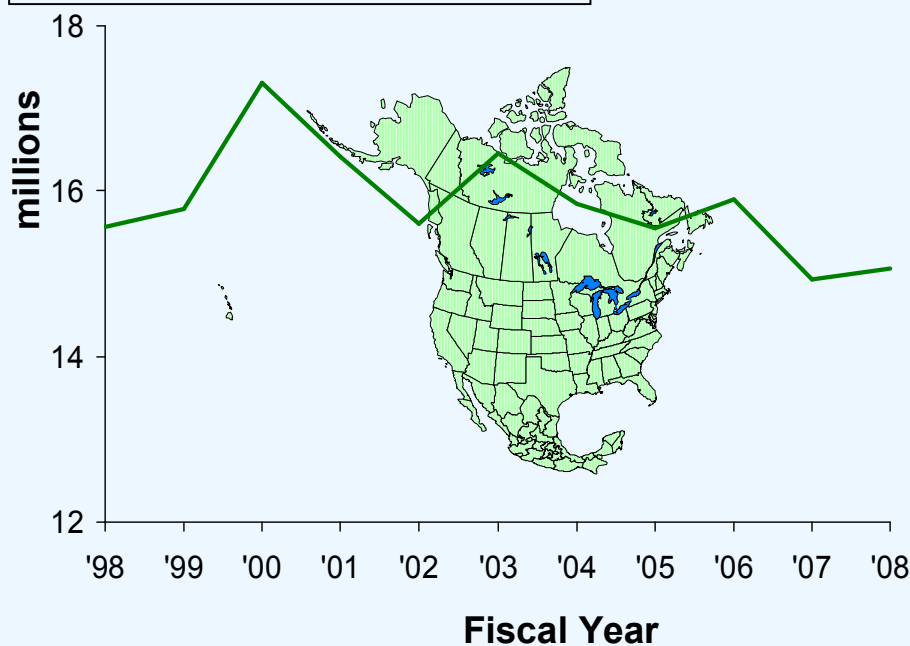


売上・利益とも前年比増

# Auto 北米-プロフォーマベース

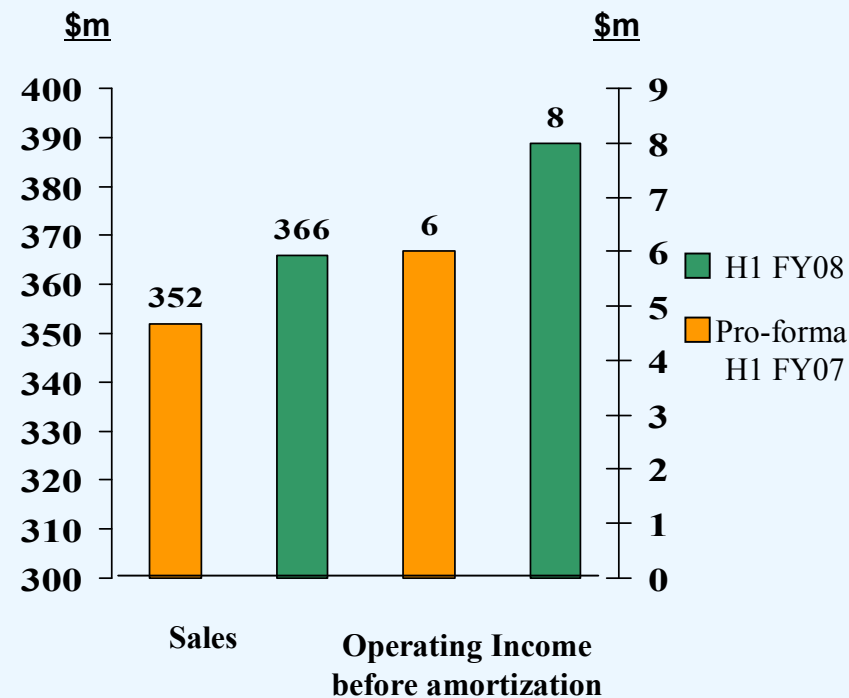
## Market

NAFTA Light Vehicle Build



- 乗用車生産はやや回復
- 在米外国車メーカーに比べ、米国自動車メーカーは苦戦

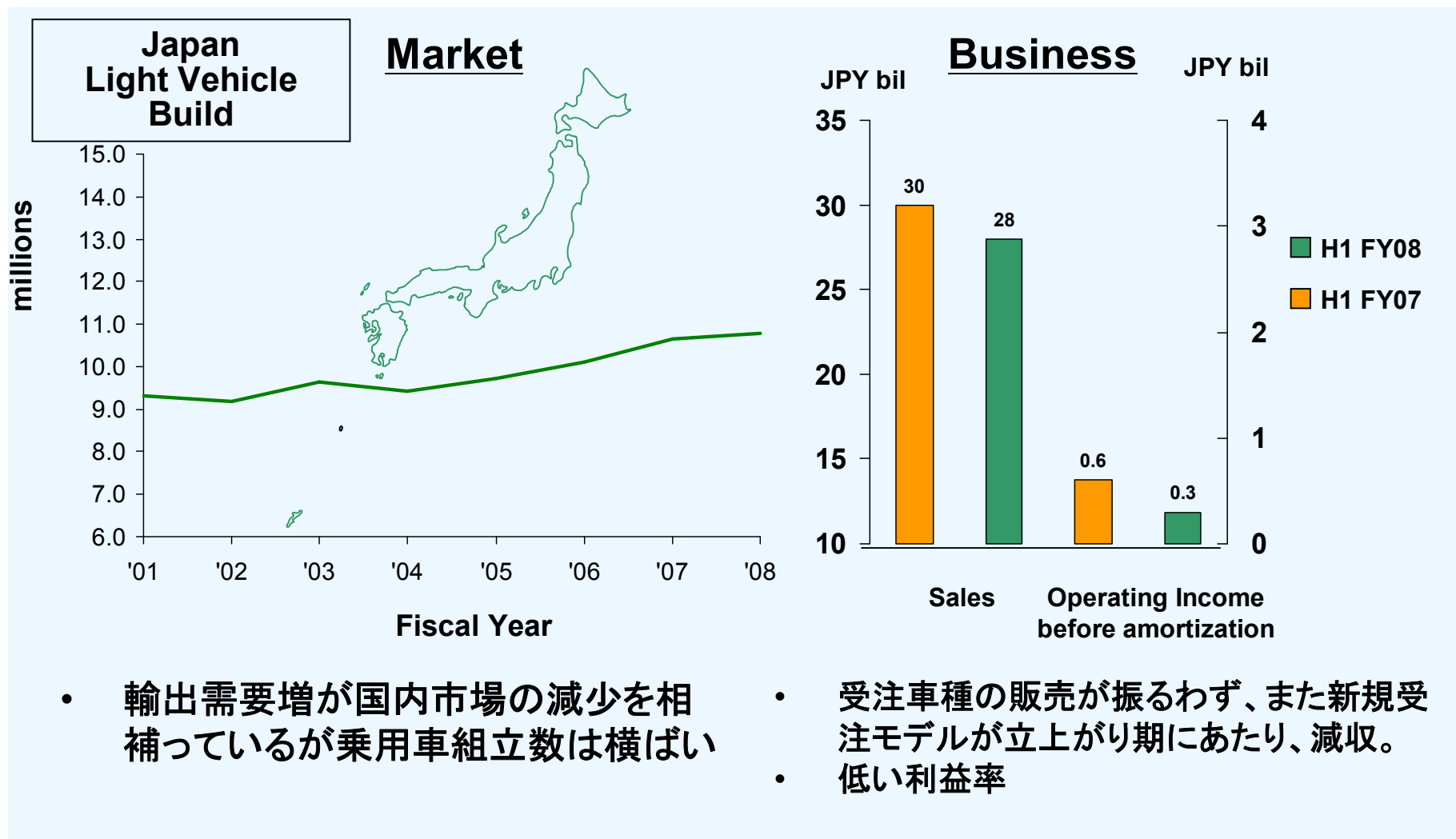
## Business



- OE向けは横ばい
- 業務効率向上と品種管理により補修用の業績は改善

OE は横ばい 補修用は改善

# Auto 日本-パフォーマンスベース



- 輸出需要増が国内市場の減少を相補っているが乗用車組立数は横ばい
- 受注車種の販売が振るわず、また新規受注モデルが立上がり期にあたり、減収。
- 低い利益率

**厳しい市場環境の下、減収**



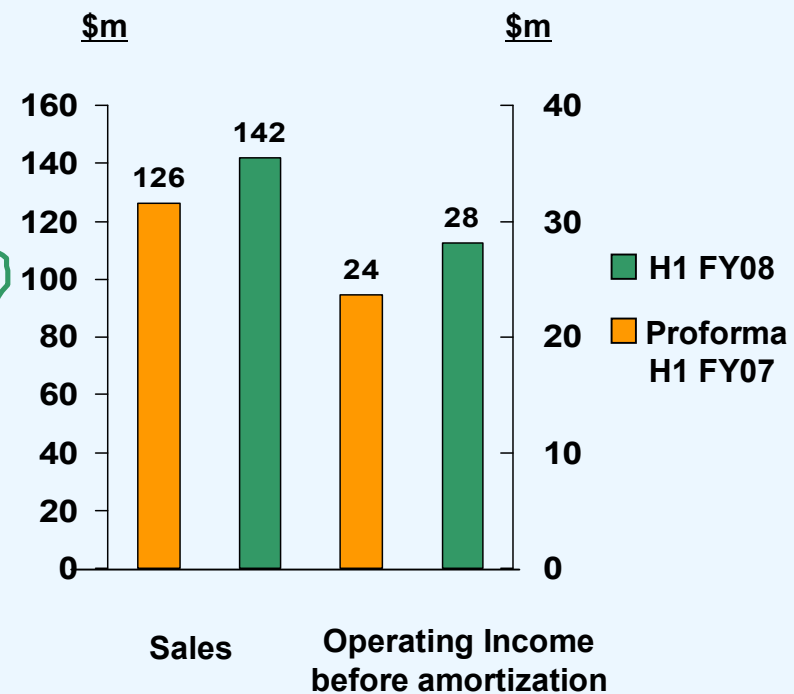
# Autoその他地域

## Market



- 南米・中国が力強く成長中

## Business

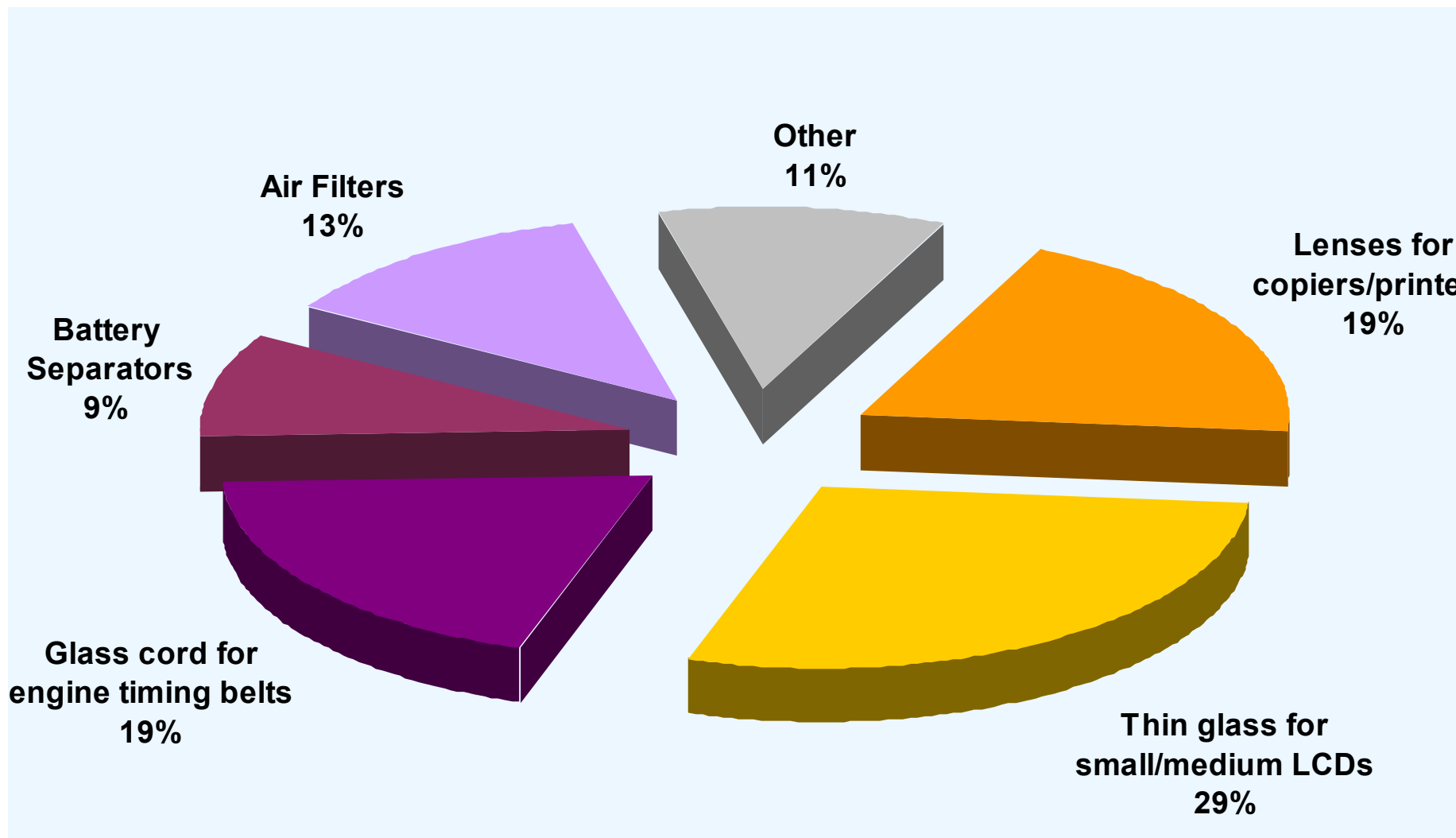


- 売上増と効率改善により増益

好業績が継続

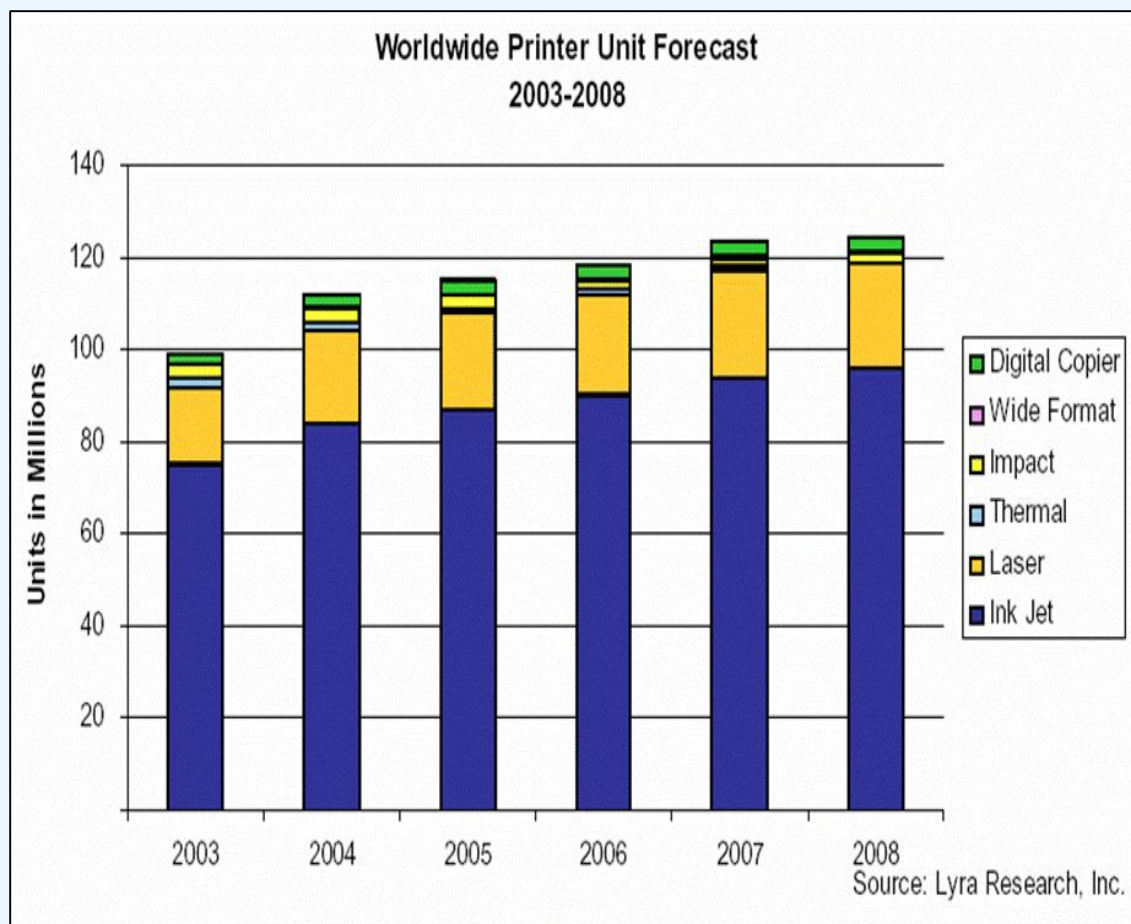
# 機能性ガラス事業

# 機能性ガラス



# 機能性ガラス – IT事業 – 情報デバイス

## Market Drivers - Lenses

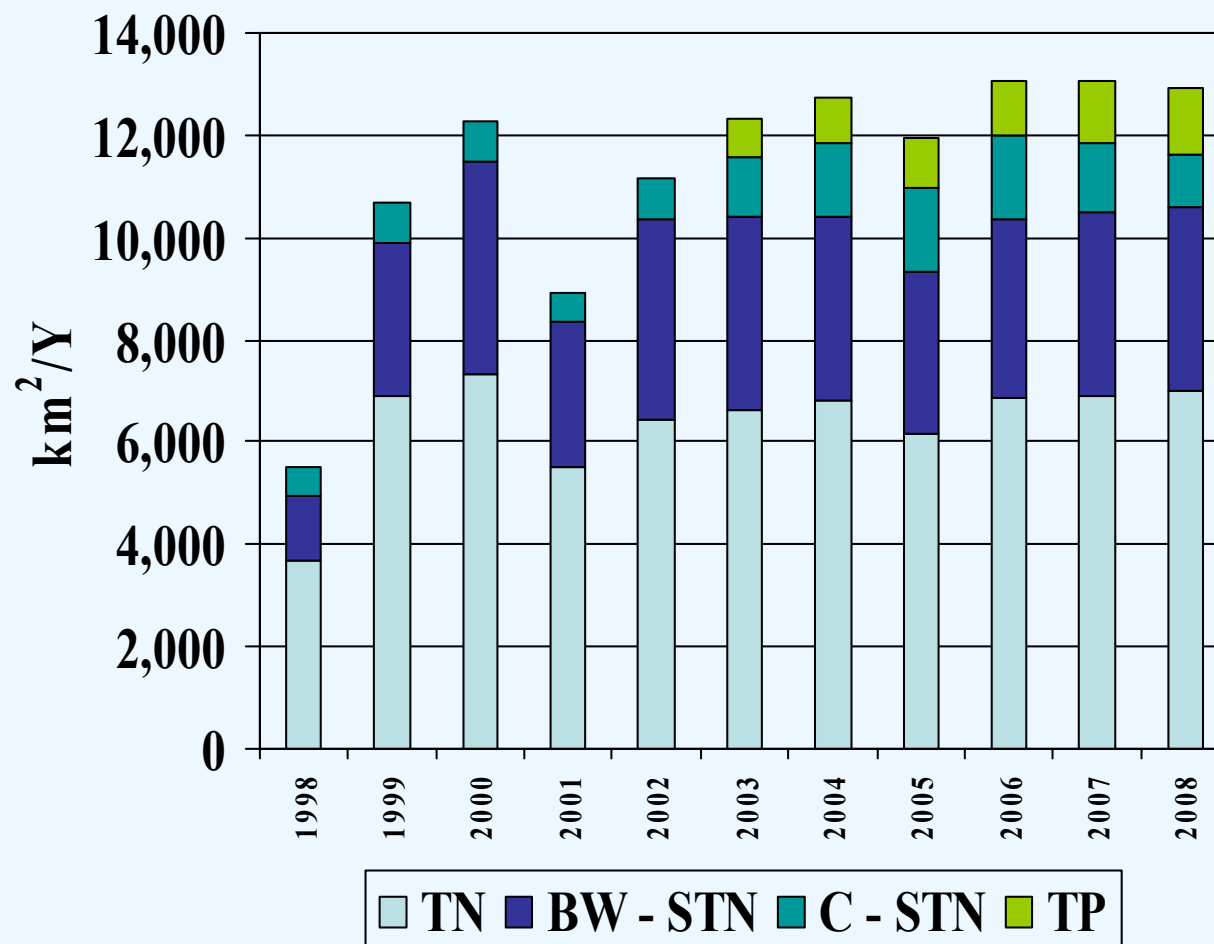


• SELFOC® Lens Array (SLA)の  
主要用途である複合機能プリンター市場は中期的には堅調に伸びています。

**SLA (SELFOC® Lens Array) の需要拡大**

# 機能性ガラス – IT事業 – ディスプレイ

## Market Drivers - Display



•タッチパネル向け需要がカラーSTNの減少に代わり成長中。

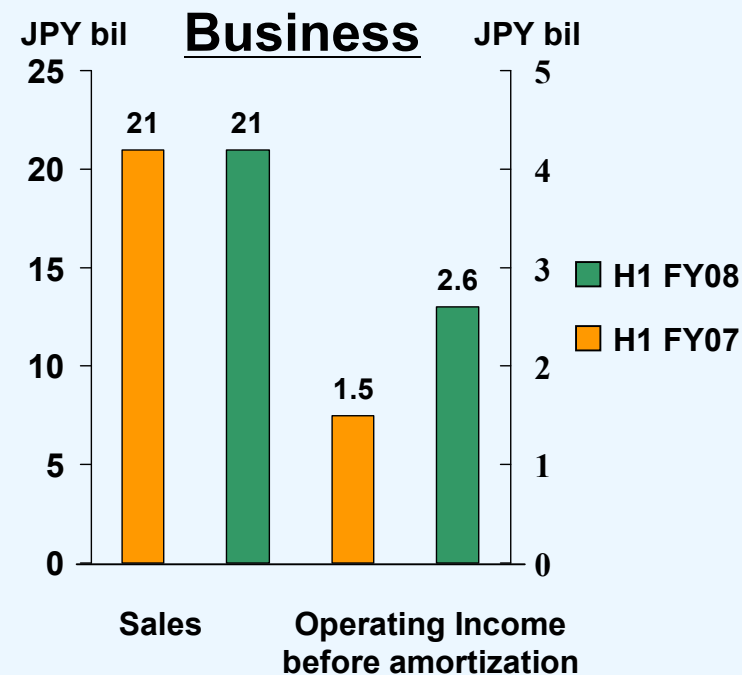
•液晶基盤事業の売上利益は堅調。

タッチパネル向け需要が拡大

# 機能性ガラス—IT事業

## Market

- 中小型液晶用途向けならびタッチパネル向けのガラス基板は堅調に推移すると予想
- 上期は複合機能プリンター市場向けは堅調な成長



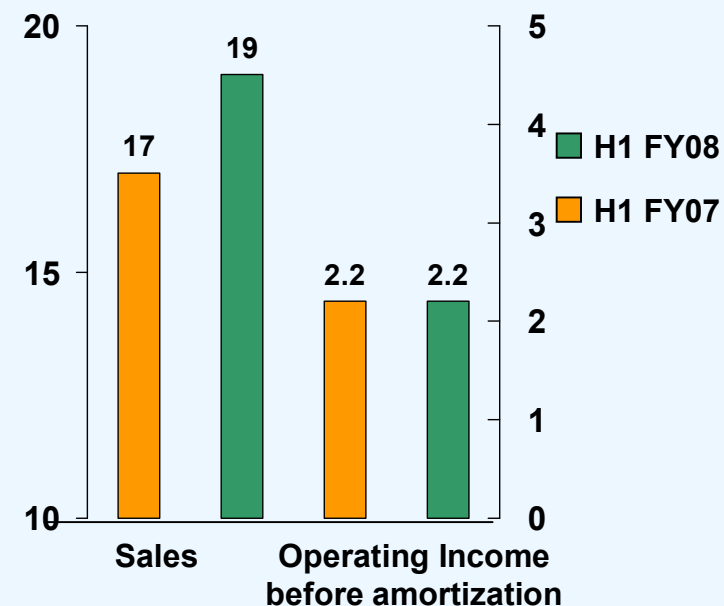
- レンズおよび中小型液晶用ガラス基板において市場シェアは安定的
- コスト削減により増益

# 機能性ガラス- GF事業

## Market

- 欧州ではディーゼル車両(タイミングベルト用ガラスコードの主たる用途である)販売が伸長中
- 上期の国内の鉛電池用の需要は低調。
- 国内のエアフィルター市場は依然厳しい状態が継続中

## JPY bil Business JPY bil



- ゴムコードが欧州向け等で好調により増収
- 営業利益は横ばい

# 戦略のアップデート



# 長期ビジョンについて

3フェーズで、  
着実に成長戦略を実行

フェーズⅠ <4年間>

財務の健全性を回復させつ  
つ、生産性・品質の向上に  
重きを置き、他社との差別化  
で新会社の強みを確立

フェーズⅡ <3年間>

板ガラス事業の領域における  
事業規模の拡大

- 新興市場への拡張投資による  
地理的拡大
- 大型新商品の開発、R&D強化、  
新しいテクノロジーの育成

フェーズⅢ <3年間>

新事業の開拓による成長の持続  
既存領域に限定せず、市場・顧客資産、  
技術資産、事業資産を活用した近隣  
事業領域、新商品領域への進展。  
M&A、アライアンスなども活用。



2007/4～

2011～

2014～

～2017/3

## フェーズ-1 (2007-2011)

### 目標

財務の健全性を回復させつつ、生産性・品質の向上に重きを置き、他社との差別化で新会社の強みを確立

### プライオリティ

1. 最大効率とシナジー発現のため、世界的な統合事業体を創る。
2. ネット借入を目標水準まで引き下げる。
3. フェーズ-2への布石

向こう3年間の明確なプライオリティ

# 統合の進捗

## 2007年4月

両社の板ガラス事業をグローバル経営の下に一体化。

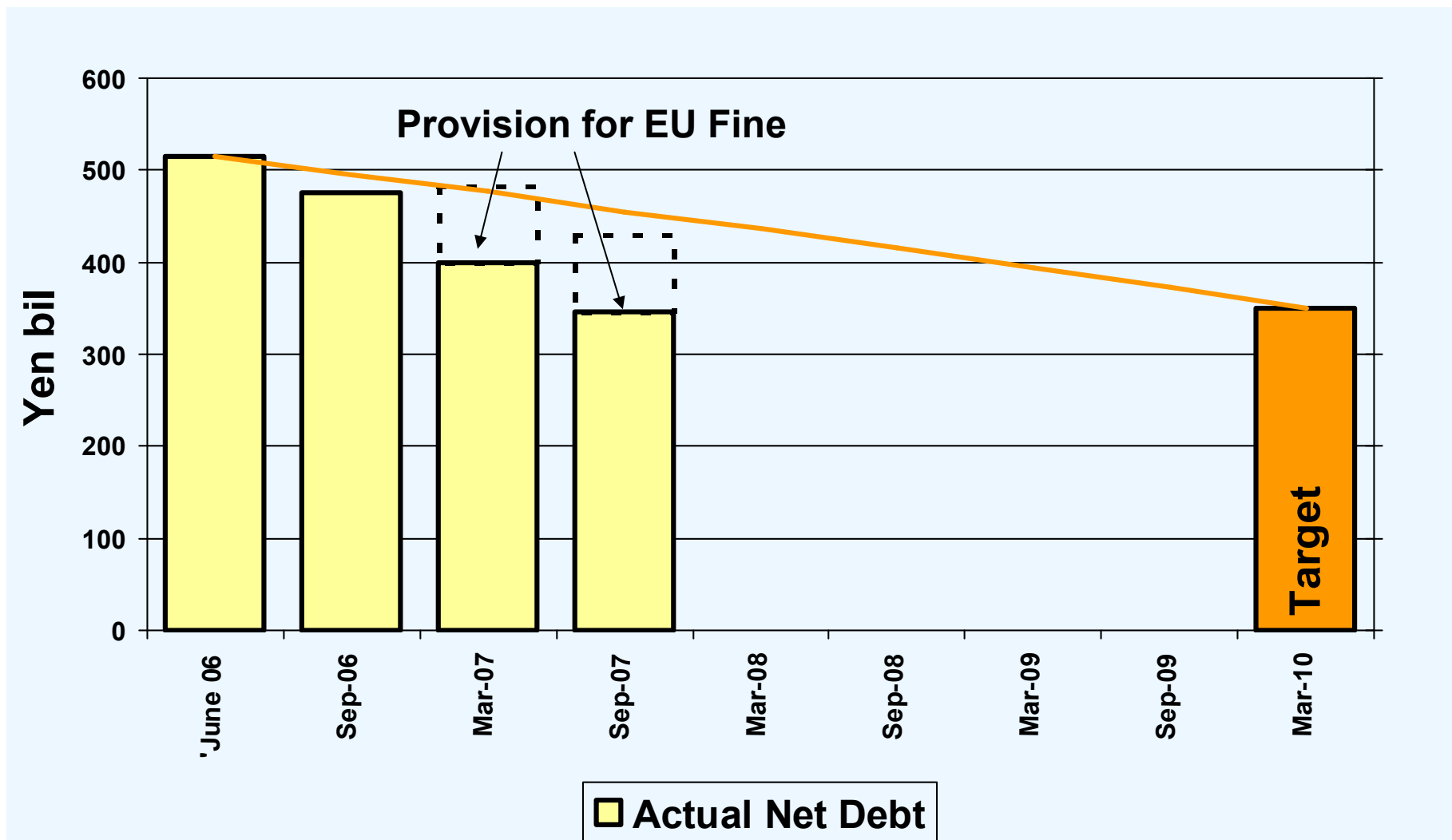
## 2007年9月

- トップ経営体制を変更し、CEO・COO職の創設を  
発表。
- 機能性ガラス事業のグローバル組織への統合を発表。

## 2007年10月

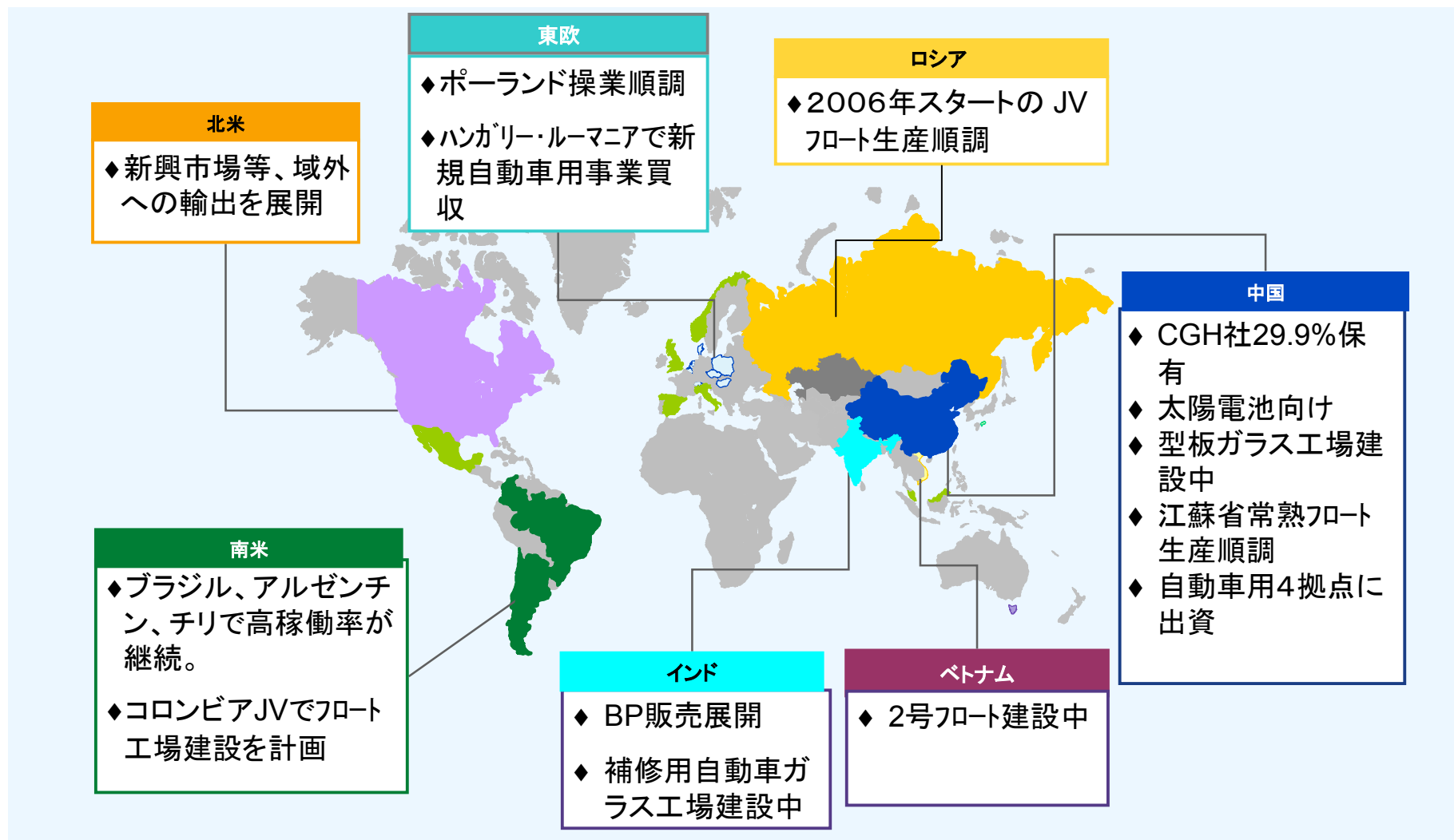
- グループの統合推進とグローバルマーケティングの強化の  
ため、ブランドを再構築。

# ネット借入の推移と目標



順調な借入削減の進捗

# フェーズ-2への布石



将来の成長の選択的投資

# 見通し

## 見通し

- 経済環境は、西欧が堅調、日本は減速、北米住宅市場は低調が続く。
- **BP**事業全体は利益率は向上の見込み。
- 欧州・南米の好調により、**Auto**事業年間利益は増益の予想。
- 機能性ガラス事業の市場は安定的で、当期業績も堅調。

年間業績見通しは変更無し

# サマリー



## サマリー

- 順調なスタートで、実績はプロフォームベース前年同期比アップ
- フェーズ-1の目標達成に向け進捗
- 中間配当は3円を維持
- 年間業績見通しは変更なし

## ご注意

- 当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。
- その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

NSGグループ°

# Appendices

# 暖簾等償却費前営業利益

(JPY bil)	Japan	Europe	North America	Rest of World*	Total	Ratio on Sales
	Flat Glass					
BP	0.0	18.6	1.7	3.1	23.4	11.4%
Auto	0.3	14.3	0.9	3.4	18.9	10.3%
	Specialty Glass					
IT	2.1	0.0	0.0	0.5	2.6	12.3%
Glass Fiber	1.9	0.3	0.0	0.0	2.2	11.4%
Group Operations and Technology	(3.2)	(4.8)	0.0	0.0	(8.0)	
Total	1.1	28.4	2.6	7.0	39.1	9.0%
Ratio on Sales	1.1%	12.8%	4.3%	15.1%	9.0%	

P社買収に係わる暖簾・無形固定資産等の減価償却費負担を除いたベース。

\* カッコ内の数字はマイナス値

# 暖簾等償却費後営業利益

(JPY bil)	Japan	Europe	North America	Rest of World	Total	Ratio on Sales
	Flat Glass					
BP	0.0	14.3	0.9	2.4	17.6	8.6%
Auto	0.3	10.3	(0.3)	2.3	12.6	6.9%
	Specialty Glass					
IT	2.1	0.0	0.0	0.5	2.6	12.3%
Glass Fibre	1.9	0.3	0.0	0.0	2.2	11.4%
Group Operations and Technology Management	(3.2)	(4.8)	0.0	0.0	(8.0)	
Total	1.1	20.1	0.6	5.2	27.0	6.2%
Ratio on Sales	1.1%	9.0%	1.0%	11.2%	6.2%	

\* カッコ内の数字はマイナス値

**NSG**  
**GROUP**